

東北地方 1か月予報

(1月17日から2月16日までの天候見通し)

平成21年1月16日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

1週目は気温がかなり高くなる見込みです。

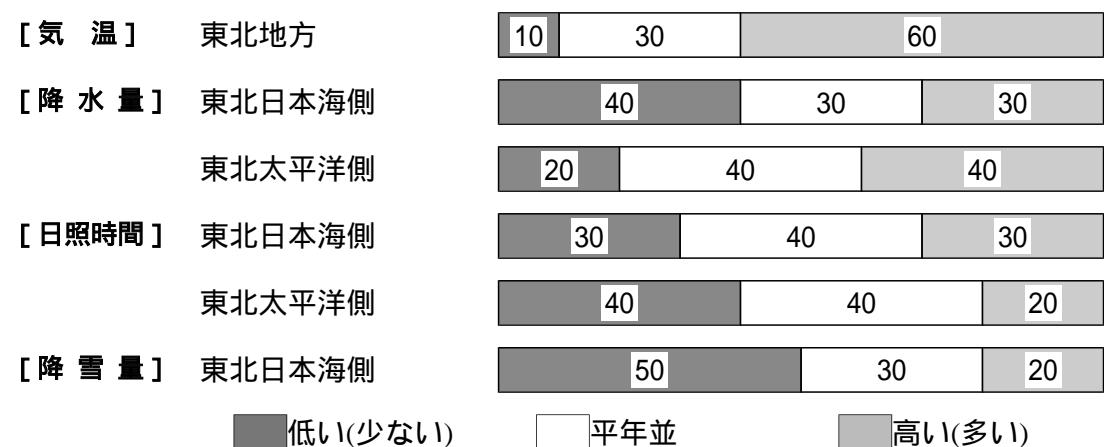
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

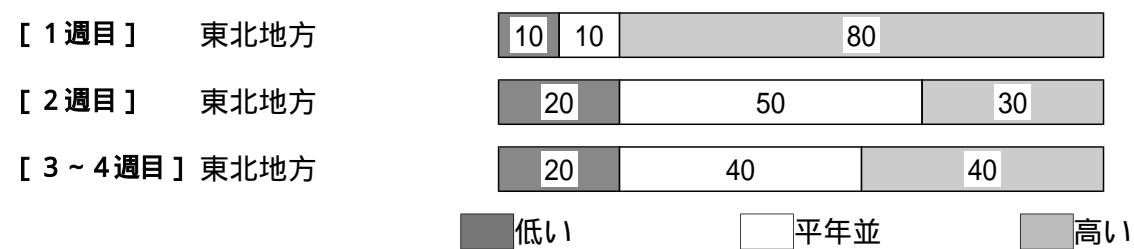
向こう1か月の平均気温は高い確率が60%です。降水量は東北太平洋側で平年並または多い確率がともに40%です。日照時間は東北太平洋側で平年並または少ない確率がともに40%です。東北日本海側の降雪量は少ない確率が50%です。

週別の気温は、1週目は高い確率が80%、2週目は平年並の確率が50%、3~4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 1月17日(土) ~ 2月16日(月)
1週目 : 1月17日(土) ~ 1月23日(金)
2週目 : 1月24日(土) ~ 1月30日(金)
3~4週目 : 1月31日(土) ~ 2月13日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は1月23日

3か月予報：1月22日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	降雪量 (cm)	気温()		
					1週目	2週目	3~4週目
青森	-1.7	143.1	67.0	263	-1.7	-2.0	-1.7
深浦	-0.8	85.8	40.1	136	-0.6	-1.1	-0.8
むつ	-2.0	92.1	87.6	194	-1.8	-2.2	-2.1
八戸	-1.5	55.8	140.7	116	-1.4	-1.8	-1.5
秋田	-0.4	103.1	56.9	143	-0.3	-0.6	-0.3
盛岡	-2.3	52.6	136.1	119	-2.4	-2.6	-2.2
大船渡	0.4	51.0	156.1	31	0.4	0.1	0.4
宮古	-0.2	70.6	169.2	67	-0.1	-0.4	-0.2
仙台	1.2	39.9	163.3	38	1.2	0.9	1.2
石巻	0.3	38.2	178.4	14	0.3	0.0	0.4
山形	-0.7	74.1	98.7	173	-0.8	-1.0	-0.7
新庄	-1.5	170.9	50.3	291	-1.6	-1.7	-1.4
酒田	1.0	135.7	50.1	147	1.1	0.8	1.0
福島	1.2	46.0	152.2	86	1.2	1.0	1.3
若松	-0.9	75.0	95.1	190	-0.9	-1.1	-0.9
白河	-0.1	31.2	170.0	56	-0.1	-0.3	0.0
小名浜	3.3	52.6	196.6	0	3.3	3.1	3.3

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.8	75 ~ 111	95 ~ 106	86 ~ 106
東北日本海側	-0.4 ~ +0.7	88 ~ 105	91 ~ 111	91 ~ 108
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.8	64 ~ 112	97 ~ 104	80 ~ 109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.9	-0.7 ~ +0.9	-0.5 ~ +0.7
東北日本海側	-0.6 ~ +0.9	-0.6 ~ +0.9	-0.5 ~ +0.8
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.9	-0.7 ~ +1.0	-0.5 ~ +0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成21年1月16日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(1月17日～2月16日)：

冬型の気圧配置は長続きせず、時々低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

なお、1週目は気温がかなり高くなる見込みです。

平均気温は高い確率が60%です。

1週目(1月17日～1月23日)：

東北日本海側では気圧の谷や寒気の影響で雪や雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では、期間のはじめに気圧の谷の影響で雨や雪の降るところがありますが、その他の日は沿岸部を中心におおむね晴れる見込みです。

平均気温は高い確率が80%です。

2週目(1月24日～1月30日)：

冬型の気圧配置は長続きせず、一時低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

平均気温は平年並の確率が50%です。

3～4週目(1月31日～2月13日)：

冬型の気圧配置は長続きせず、時々低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

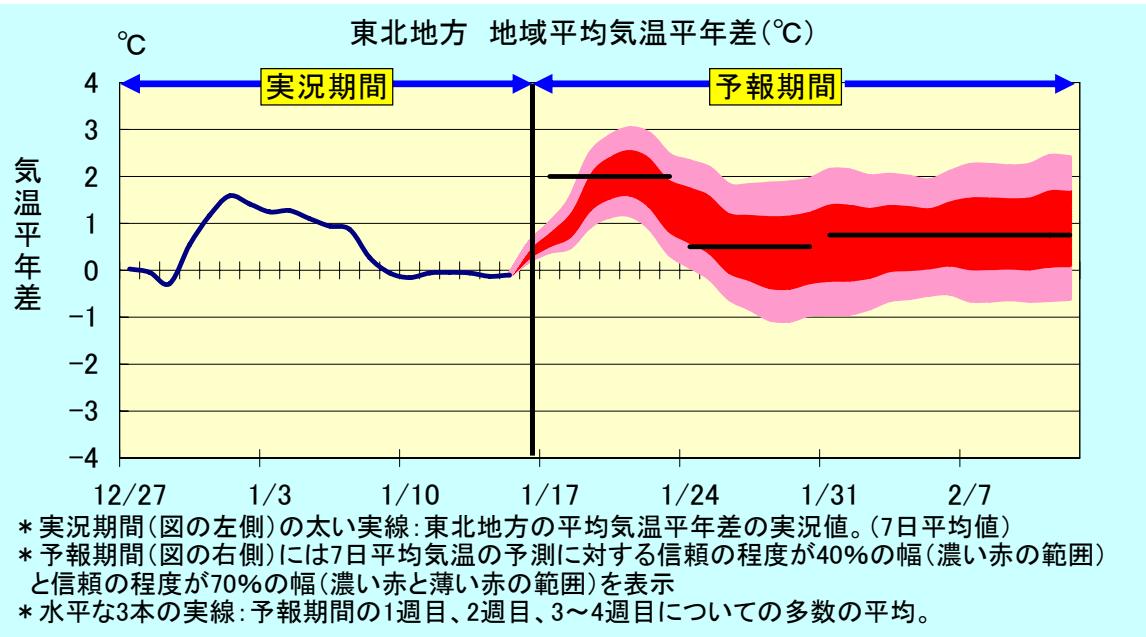
平均気温は平年並または高い確率とともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	5.2日	1.2日	1.3日	2.7日
東北太平洋側	18.5日	4.4日	4.8日	9.3日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、3～4週目は平年を上回り、2週目は平年付近の予想となっている。

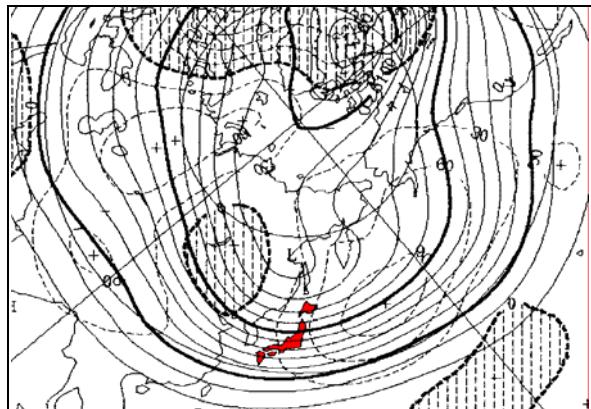


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: ユーラシア大陸沿いの波列が明瞭で、日本付近は北太平洋を中心とする正偏差におおわれる。日本付近は寒気の影響を受けにくい。バイカル湖付近は負偏差で西谷傾向。低気圧や前線の影響を受けやすい。

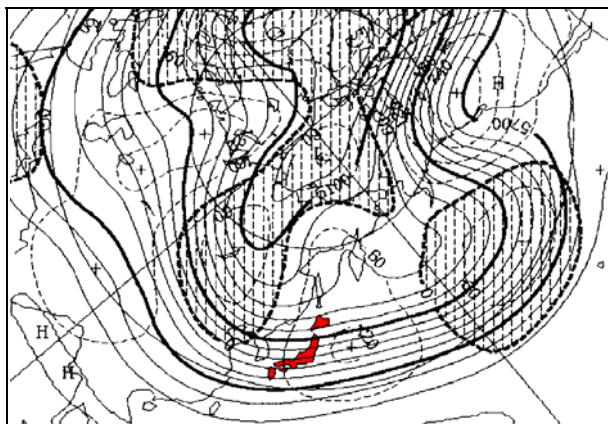
1週目: 大西洋からユーラシア大陸沿いの波列が明瞭で、日本付近は日本の東海上を中心とする正偏差におおわれる。寒気の影響は平年より小さい見込みで、高温傾向。バイカル湖付近は負偏差で西谷傾向。低気圧や前線の影響を受けやすい。

2週目: 日本付近は正偏差だが、1週目に比べて、大西洋から続く波列の強さは弱まる。日本海から中国東北区は負偏差で西谷傾向。

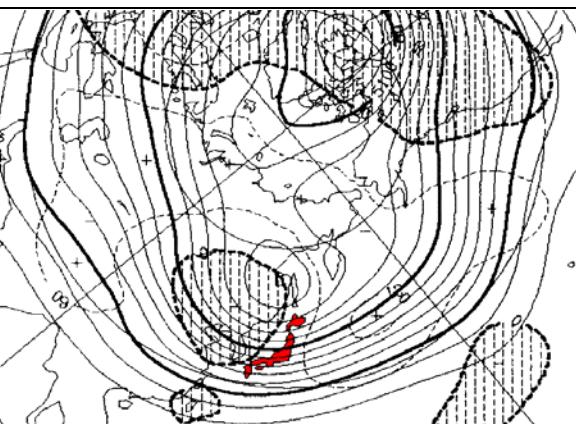


1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図



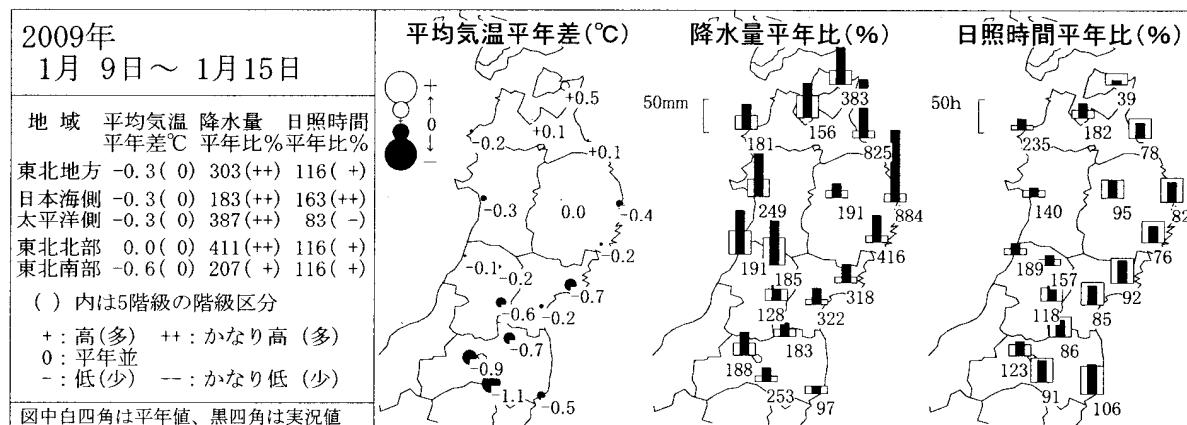
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔60m）、点線は、平年差（間隔60m）
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（1月9日～1月15日）の天候の経過

この期間は低気圧や気圧の谷の影響を受けることが多く、冬型の気圧配置となる日は少なかつた。このため、東北日本海側では日照時間は平年に比べて多かったが、南岸低気圧や日本海低気圧の影響で曇りや雪または雨の日もあった。また、東北太平洋側でも雪や雨となる日があり、9日から10日にかけて、本州南岸から三陸沖に北上した低気圧の影響で降水量は多くなった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北部でかなり多く、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）